

掃水まちづくり協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



「三角」の大紋に、腰柄の流水が「掃水」を表している揃いの法被



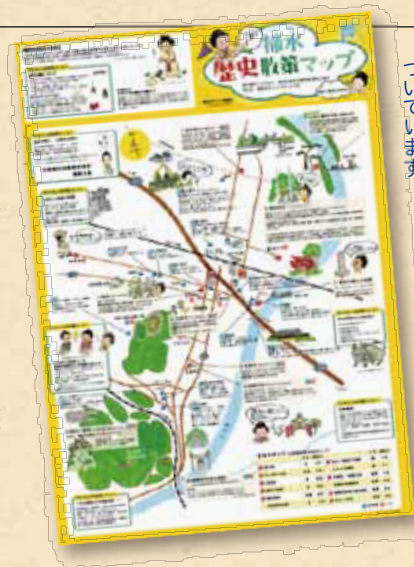
ワンディサロン

ワンディサロンとは地域のみなさんが集まり、地域のことについて楽しく話し合う場のことです。紙芝居「奥田三角ものがたり」も披露しました。

掃水地区は、松阪市の東部に位置し、榊田川下流域の左岸に位置する水田地帯と南西部にはなだらかな丘陵があり、市街地近郊にありながら比較的緑に囲まれた地域です。

掃水まちづくり協議会は、2006年10月に設立され、今年度12年目を迎えました。総務・地域振興・体育・健康福祉・安全防災・教育文化・環境美化・将来計画実施の8部会により構成され、活動しています。将来計画実施部は2016年より結成された新しい部会です。

この部会は、地域計画を実施していくための検討の他、協議会の課題である「役員のなり手不足」を解消し、新しいまちづくりの担い手や視点の発掘を目的にワンディサロンを開催しています。



掃水歴史散策マップ
近鉄榊田駅を起点として、主なスポットを回れるマップ。マップのなかには、学習コーナーがっています。

サロン等で掃水の名付け親である奥田三角さんについての紙芝居を行うのは、三角さんという偉人をとおして地域のみなさんに改めて地域を知ってもらい郷土愛を育むきっかけ作りのためだそうです。

設立当初より「みんなで作る元気で仲良く楽しいまち」を地域の将来像としています。歴史散策マップの作成や様々なイベントを開催するのは、イベントをすることで地域のことを知ってもらいたい、知らないいと郷土愛は生まれたい、元気で仲良く楽しいまちは創れない、という思いからでした。

その思いが届き、地区でアンケートを取った時には、90%を超える認知度があったそうです。今後は培ってきた「住民力」を駆使して「まち創り」を進めていきます。

活動紹介

夏祭りや文化祭、地区ウォーキングなどのイベントは直接的に「まちづくり」には関係ないようにも思えますが、同じ法被を着たり、地域のなかを歩いたりすることで、郷土愛が深まり、住民力のアップに繋がります。

お知らせ

青色パトロール隊、出発式!



パトロールの際につけている回転灯が青色ということから青色パトロール隊、通称「青パト」と呼ばれています。地域の安全を守るべく、月約20日以上、地域を巡回しています。今年度の出発式は6月です。



夏祭り



文化祭



地区ウォーキング